

		チェック項目	はい	子ども いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制設備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			障がい者施設基準:一人 3 m ² を満たしている
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準:管理者 1・児発管 1・指導者 2 を満たしている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	該当利用児童が無く、今後も予定がない
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2		職員補助職(パート職員)については時間的制約があり職員会議に参加できないため、出勤後、会議内容の報告している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年 1 回実施 今年度は R5 年 1 月 18 日～1 月 27 日で実施
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			H30 年 3 月 HP 開設 HP にて公開している 保護者向け評価は結果を配布している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は受けておらず、重要事項説明書にその旨を記載している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		1	常勤職員は参加が可能な研修には参加しているが、非常勤職員も希望があれば参加の機会をもうけていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			児発・放課後等ディのアセスメントツールや学校との連携で、同じようなツールを作り、機能性運動障害の児童に使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全員で計画を立てるには職員補助職(パート)の時間的制約もある為苦慮しているが、職員間の連携を密に出来るよう心がけたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		コロナの影響もあり活動が制限されプログラムの計画は非常に難しい時期があったが、多方面から情報収集をし出来る限り固定化しないよう努力している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	4		長期休みの過ごし方について少し課題があると感じており、今後も職員間で話し合いながら活動の仕方を工夫していきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			

適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員補助職については勤務開始時間が異なる為、出勤した時点でその日の注意事項や子供の様子について口頭で伝達している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後はシフトの関係で可能な職員のみで支援の振り返りをしており、次の日の支援開始前に全員に前日の報告をし注意事項を伝えるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在まで重度の児童を受け入れていないが、通院服薬をしている児童にはデイでの様子を文書にて担当医に伝えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援事業所や幼児センターと情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	一般就労(障害者雇用枠)した子の就職先に定期的に連絡を取っていたが現在は必要性が無く、情報提供を求められる事例もない、今後必要があれば協力してゆく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期的に行われている勉強会に参加したり、情報の共有に努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在は交流しておらず、必要がないと判断している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		1	5	ペアレントトレーニングについての知識を得る必要性は感じている。保護者様の相談を受けたり、それぞれの状況に合わせて助言を行っている。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	年に一回保護者会を行っていたが、3年ほど新型コロナウイルスの関係で開催していないが、来年度は開催予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個人情報の観点から外部に活動内容は開示しない。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		30年度に策定し、希望する保護者に配布。配布されていない家庭があり、配布の予定。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			30年度より10月に土曜日の交流会に合わせて実施している（年1回）。避難場所についても保護者様に通知が必要なので、来年度は災害時の避難場所をお伝えする。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			R3年度より契約時の重要事項説明書と運営規定に記載。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーの有無は確認し、対象児童には個別対応している 医師の指示書が必要な子はいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2		昨年度よりヒヤリハット事例集を作成し、口頭ではなく文書として残しているが、職員補助職との事例の共有が十分ではない。

令和 5 年 1 月 27 日

放課後等デイサービス コローレ東川